

生成AI利用クラウドサービス(ASP・SaaS)の安全・信頼性に係る情報開示指針(第1.0版)

前提1: <定義>
「ASP・SaaS」とは、特定又は不特定のユーザーが必要とするシステム機能を、ネットワークを通じて提供するサービスのことをいう。 (「ASP(Application Service Provider)」と「SaaS(Software as a Service)」を特に区別せず、「ASP・SaaS」と連ねて呼称する。) 「生成AI利用クラウドサービス(ASP・SaaS)」とは、生成AI機能を組み込んだクラウドサービスのうち、「ASP・SaaS」に対応するサービスのことをいう。
前提2: <位置づけ>
本指針は、総務省が公表する「クラウドサービスの安全・信頼性に係る情報開示指針」を基礎とし、生成AIを利用したクラウドサービス(SaaS)の利用者がサービスを比較・評価・選定する際に必要となる情報開示項目を定めるものである。一般社団法人日本クラウド産業協会(ASPIG)(東京都品川区西五反田、会長:河合輝欣)は、国際標準、国際行動規範及び各種ガイドラインを参照し、生成AI特有のリスクやガバナンスへの対応を踏まえた項目を追加して、本指針を策定した。
前提3: <情報開示の対象>
情報開示の対象(単位)は、「ASP・SaaS」のサービス毎とする。

【情報開示項目】		【内容】		必須/選択
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須 (注1)
事業所・事業				
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号) 法人番号	必須
3		設立年月日	事業者の設立年月日(西暦)	必須
4		事業所	事業者の本店所在地 事業者ホームページ	必須
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主な事業の概要	必須
人材				
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須
			代表者経歴(生年月日、学歴、業務履歴、資格等)	選択
7		役員	役員数	選択
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	必須
財務状況				
9	財務データ	売上高	事業者の売上高(単独ベース)	必須
10		経常利益	事業者の経常利益額(単独ベース)	選択
11		資本金	事業者の資本金(単独ベース)	必須
12		自己資本比率	事業者の自己資本の比率(単独ベース)	選択
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)	選択
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)	選択
15		上場の有無	株式上場の有無と、「有り」の場合は市場名	選択
16	財務信頼性	財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による計算書類等の作成、③「中小会計要領」の適用に関するチェックリストの活用、④監査役による監査、⑤いずれでもない	選択
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択
資本関係・所属団体				
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択
19	所属団体	所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択

(注1)「選択」は情報開示が任意である項目、「必須」は情報開示が必須である項目、「必須○」とは一定の水準を考慮すべき項目を示す。

コンプライアンス				
20		コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当役員の氏名	選択
21	組織体制	専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、「有り」の場合は社内の部署名・会議名	選択
22		情報セキュリティに関する組織体制の状況	情報セキュリティに関する責任者の有無と、「有り」の場合は責任者名・役職 情報セキュリティに関する組織体制の有無	必須
23	個人情報	個人情報の取扱い	個人情報の取扱いに関する規程等の有無と、「有り」の場合は記載箇所	必須
24	守秘義務	守秘義務契約	守秘義務に係る契約又は条項の有無 守秘義務違反があった場合のペナルティ条項の有無	必須
25	従業員教育等	従業員に対するセキュリティ教育の実施状況	従業員に対するセキュリティ教育実施に関する取組状況 従業員に対するAI特有のセキュリティ教育の実施有無	必須
26		従業員に対する守秘義務等の状況	従業員に対する守秘義務対応の取組状況	必須
27	委託	委託情報に関する開示	サービス提供に係る委託先(再委託先)の情報開示の可否と、可能な場合の条件等	必須
28		委託先に対する管理状況	自社の個人情報保護指針に対する遵守規定の有無	必須
			委託先(再委託先)の個人情報保護等の状況に関する情報提供の可否と、可能な場合の条件等	
			委託先(再委託先)との守秘義務対応状況	
委託先(再委託先)の管理方法				
29	AIリスクアセスメントの実施	AI特有のリスク特定・評価プロセス	AIシステムのおかれた環境(外部との接続の有無、利用者の属性など)を考慮した、AI特有のリスク(悪意ある攻撃だけでなく、ヒューマンエラーによる設定ミス等によって生じる脅威も含む)特定・評価プロセスの有無と、「有り」の場合は文書名	必須○
AIリスクアセスメント報告書等の開示		AIリスクアセスメント報告書等の有無と「有り」の場合、開示可能であれば文書名	必須○	
30	権利侵害申出・苦情対応窓口	権利侵害申出・苦情対応窓口の設置	権利侵害申出・苦情対応窓口の設置有無と、「有り」の場合は文書名	必須○
		対応プロセスの記録	対応プロセス記録の有無	必須○
31	AIポリシー及び影響評価等	AI倫理方針、サービス提供の考え方等並びにインパクトアセスメントの実施	AI倫理方針、サービス提供の考え方等並びにインパクトアセスメントの実施有無と、「有り」の場合は文書名	必須○
		ユーザーデータ保護方針、知的財産権保護方針・責任体制	ユーザーデータ保護方針、知的財産権保護方針・責任体制の有無と、「有り」の場合、公表していれば文書名やWebページ名等	必須○
		AIシステムのライフサイクル管理	ライフサイクル各段階の検証・承認プロセスの有無と「有り」の場合は文書名	選択
32	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル、リスクアセスメント結果等の状況と文書名	必須○
33		事業継続に関する規程の整備	事業継続に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、「有り」の場合は文書名 BCP対応計画及び運用手順等の開示の可否と、可能な場合の条件等	必須
34		勧誘・販売・係争に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、「有り」の場合は文書名 係争に関する規程・管轄裁判所等、係争が生じた際の対応に関する情報を含む文書類の有無と、「有り」の場合は文書名	必須
35		ASP・SaaSの苦情処理に関する規程等の整備	ASP・SaaS事業者の事故責任の範囲と補償範囲が記述された文書の有無と、「有り」の場合は文書名 ASP・SaaS事業者の事故責任の範囲と補償範囲が記述された文書の有無と、「有り」の場合は文書名	必須
36		利用者による設定不備の抑止・防止に係る規程等の整備	サービス提供の際の利用者による設定不備を起こさないための基本方針・規程・マニュアル等の有無と「有り」の場合は文書名	必須

(注1)「選択」は情報開示が任意である項目、「必須」は情報開示が必須である項目、「必須○」とは一定の水準を考慮すべき項目を示す。

サービス基本特性				
37	サービス内容	サービス名称	本ASP・SaaSのサービス名称	必須
38		サービス開始時期	本ASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須
			サービス開始から申請時までの間の大規模な改変等の有無と、「有り」の場合は改変年月日(西暦)	
39		サービスの内容・範囲	本ASP・SaaSのサービスの内容・特徴	必須
			他の事業者との間で行っているサービス連携の有無と、「有り」の場合はその内容	
40		サービス提供時間	サービスの提供時間帯	必須
41		サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述)	必須
42	移行支援	本サービスを利用する際における既存システムからの移行支援の有無(契約内容に依存する場合はその旨記述)	必須	
43	マネージド・サービスやコンサルティング・サービスの提供	本サービスのシステム動作環境の設定や運用支援などをマネージド・サービスやコンサルティング・サービスとして提供しているか、または第三者の当該サービスを紹介しているかの有無。「有り」の場合はその概要	選択	
44	AI適正利用と責任分担の明示	適正利用	利用者への注意喚起(個人情報の入力回避や、AI生成物が不正確または権利侵害となる可能性について、利用規約や画面上で注意喚起を行っているか)の有無	必須
		責任分担	人間の判断の有無、AIによる判断に基づく損害賠償責任など責任分担にかかわる事項	必須
45	利用者データ、学習済みモデルの権利及び収集方法	利用	利用者が入力したデータの利用の有無、内容同意の取得方法など	必須
46		データ収集方法	追加学習等の利用データと収集方法	必須
47		権利関係	利用者データに関する権利(所有権、使用权、著作権、肖像権など)及び利用者データを使った追加学習後の学習済みモデルの権利の開示有無	選択
48	サービスの変更・終了	サービス(事業)変更・終了時等の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○
			告知方法	必須
		サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置	対応・代替措置の基本方針の有無と、「有り」の場合はその概要	必須
50	契約の終了等	情報の返却・削除・廃棄	契約終了時等の情報資産(利用者データ等)の返却責任の有無と、受託情報の返還方法・ファイル形式・費用等	必須
			情報の削除又は廃棄方法の開示の可否と、可能な場合の条件等	
			削除又は廃棄したことの証明書等の提供	
51	サービス料金	料金体系	初期費用額	必須
			月額利用額	
			最低利用契約期間	
			AI機能利用に伴う追加的対価の有無と「有り」の場合、開示可能であれば追加的対価の算定基準	
52	解約時違約金支払いの有無	解約時違約金(利用者側)の有無と、「有り」の場合はその額	必須	
53	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、「有り」の場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	
54	サービス稼働設定値	サービス稼働率の目標値	必須	
		サービス稼働率の実績値		
		サービス停止の事故歴		

55	サービス品質	サービスパフォーマンスの管理	システムリソース不足等による応答速度の低下の検知の有無と、「有り」の場合は、検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法 ネットワーク・機器等の増強判断基準又は計画の有無、「有り」の場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択
56		認証取得・監査実施	プライバシーマーク(JIS Q 15001)等、ISMS(JIS Q 27001)等、ITSMS(JIS Q 20000-1等)の取得、監査基準委員会報告書第18号(米国監査基準SSAE16、国際監査基準ISAE3402)の作成の有無と、「有り」の場合は認証名又は監査の名称。また、組織の方針に基づく内部システム監査等を実施している場合はその概要	選択
57		脆弱性診断	脆弱性診断の有無と、「有り」の場合は、診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)と、対策の概要 AIシステムに対する敵対的テスト(レッドチーム等)の実施有無(実装された対策の有効性を確認する観点を含む)と「有り」の場合は、対策の概要	選択
58		システム動作環境の設定・診断に係る支援ツール等の提供	システム動作環境の設定や設定値の診断に係る支援ツール等提供の有無。「有り」の場合は、ツールの概要。	選択
59		学習コンテンツや学習機会の提供	システム動作環境そのものや設定に係る学習コンテンツもしくは講習会等の学習機会の提供有無。「有り」の場合はその概要	選択
60		バックアップ対策	利用者データのバックアップ実施インターバル 世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須
61		サービス継続	サービスが停止しない仕組み(冗長化、負荷分散等) DR(ディザスタリカバリー)対策の有無と、「有り」の場合はその概要	必須
62		受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択
63		SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本サービスに係るSLAが契約書に添付されるか否か	必須
64		契約者数	契約者数	本ASP・SaaSサービスの契約企業数等
アプリケーション等				
65	品質	AI出力の信頼性・安全性およびデータ品質管理	出力の正確性・信頼性向上対策、及び安全基準等の学習による不正な指示への耐性向上対策(RLHFやSFT等を用いたファインチューニングなど)の有無 ※RLHF: 人間のフィードバックに基づく強化学習 ※SFT: 教師ありファインチューニング ガードレール等の検討状況	必須○
66		説明可能性のレベル	AIの出力結果の根拠の説明可能性のレベル(ホワイトボックス型/ブラックボックス型)	選択
67		使用する基盤AIモデル等の透明性	使用する基盤AIモデル等の情報の開示有無、「有り」の場合はその詳細	必須
68		重要システムの場合のリージョン	政府、金融、インフラ等重要システムの場合に使用する基盤AIモデル等が稼働するリージョンの開示の有無と、「有り」の場合は、そのリージョン名	必須
69		公平性・バイアスへの配慮	AI出力の公平性を確保するため、不適切用語のフィルタリング等の配慮を行っているか、その実態を開示すること。	必須
70		外部連携時のデータ参照制限等の実施有無	RAG(検索拡張生成)等の利用時において、ユーザー権限に応じたデータ参照制限(マルチテナント分離等)や、参照データへの細工によるデータポイズニング攻撃を想定したデータ検証・信頼性確認を行っていること。	選択
71		他のサービス・事業との連携状況に関する情報提供	他のサービスや事業との連携の有無と、「有り」の場合は情報提供の条件等	必須
72	連携	外部AIモデルの選定基準・管理状況 自社が提供するサービスが動作するサーバー上でのAIエージェントやローカルLLMの利用状況、及びそれらによる外部ツール・システム連携時の権限管理(実行結果がユーザーへ与える影響度を考慮し、実行の認可をユーザーに都度求める等の対策)の実施状況	必須	
73		死活監視	死活監視の有無と、「有り」の場合は死活監視の対象	必須○
74		時刻同期	時刻同期への対応の有無と、「有り」の場合は時刻同期方法	必須
75		ウイルス対策	ウイルス対策の有無	必須○
76		管理者権限の運用管理	システム運用部門の管理者権限の登録・登録削除の手順の有無	必須○
77		ID・パスワードの運用管理	事業者側にて、利用者のID・PWを付与する場合におけるIDやパスワードの運用管理方法の規程の状況	必須○

(注1)「選択」は情報開示が任意である項目、「必須」は情報開示が必須である項目、「必須○」とは一定の水準を考慮すべき項目を示す。

78	セキュリティ	記録(ログ等)	利用者の利用状況の記録(ログ等)取得の状況と、その保存期間及び利用者への提供可否	必須○
			システム運用に関するログの取得の有無と、「有り」の場合は保存期間	必須
			ログの改ざん防止措置の有無	必須
79		セキュリティパッチ管理	パッチ管理の状況とパッチ更新間隔等、パッチ適用方針	必須○
80		暗号化対策	暗号化措置(データベース)への対応の有無と、「有り」の場合はその概要	必須
81		AI特有のセキュリティ対策と入出力検証	プロンプトインジェクション等の攻撃に対し、入力フィルタ(不正指示検知)や出力フィルタ(情報漏洩防止)等のガードレール機能を実装していること。	必須○
82		システムプロンプト保護	システムプロンプトやRAG用データストア等に含まれる機密情報の保護状況(意図しない出力の防止対策や、キー管理システム等を用いた分離管理の有無を含む)	必須
83		知財保護の技術的措置	技術的措置(電子透かし等)の実施の有無	必須
84	性能	AI性能対策	学習時間、推論時間(利用者の操作に係るもの)	選択
85	設定不備防止	設定不備防止対策	申請したサービスが該当する「クラウドサービス利用・提供における適切な設定のためのガイドライン」における「【評価項目】 a. クラウドにおけるセキュリティ設定項目の種類」それぞれに対する設定不備防止対策の有無。「有り」の場合は、該当項目と設定不備防止対策の概要	必須
ネットワーク				
86	センター側ネットワーク	回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須
87		帯域	データ通信速度の範囲、帯域保証の有無	必須
88	セキュリティ	ファイアウォール	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	必須○
89		不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知等の有無と、「有り」の場合は対応方法	必須
90		ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択
91		ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○
92		なりすまし対策(事業者サイド)	第三者によるなりすましサイトに関する対策の実施の有無と、「有り」の場合は認証の方法	必須
93		暗号化対策	暗号化措置(ネットワーク)への対応の有無と、「有り」の場合はその概要	必須
94		その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策等)	選択
95	PC側ネットワーク	推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類 ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須
96		推奨帯域	推奨帯域の有無と、「有り」の場合はそのデータ通信速度の範囲	必須
端末				
97	PC等 (操作端末)	推奨端末	パソコン、スマホ、タブレット、シンクライアント等の端末の種類、OS等 利用するブラウザの種類	必須

(注1)「選択」は情報開示が任意である項目、「必須」は情報開示が必須である項目、「必須○」とは一定の水準を考慮すべき項目を示す。

ハウジング(サーバ設置場所)				
98	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須
99		所在地	国名、日本の場合は地域ブロック名(例:関東、東北)	必須
			特筆すべき立地上の優位性があれば記述(例:標高、地盤等)	選択
100	耐震・免震構造	耐震数値		必須
		免震構造や制震構造の有無		
101	非常用電源設備	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、「有り」の場合は電力供給時間	必須
102		給電ルート	異なる変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	必須
103		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、「有り」の場合は連続稼働時間の数値	必須
104	消火設備	サーバールーム内消火設備	自動消火設備の有無と、「有り」の場合はガス系消火設備か否か	必須
105		火災感知・報知システム	火災検知システムの有無	必須
106	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	必須
107		誘導雷対策	誘導雷対策の有無	必須
108	空調設備	空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	必須
109	セキュリティ	入退室管理等	入退室記録の有無と、「有り」の場合はその保存期間	必須
			監視カメラの有無	
個人認証システムの有無				
110	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	選択	
		保管管理手順書の有無		
111	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	
サービスサポート				
112	サービス窓口 (苦情受付・問合せ)	連絡先	電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○
			代理店連絡先の有無と、「有り」の場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先	必須
113		営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須
114	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		
115	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	利用者への告知時期(1ヵ月前、3ヵ月前、6ヵ月前、12ヵ月前等の単位で記述)	必須○	
		告知方法	必須	
116	サービス通知・報告・インシデント対応	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無と、「有り」の場合は通知方法及び利用者への通知時間	必須○
117	セキュリティ・インシデント対応	セキュリティに関するインシデントが発生した場合の対応(通知、被害の拡大防止、暫定対処、本格対処など)	必須	
118	定期報告	利用者への定期報告の有無(アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	